

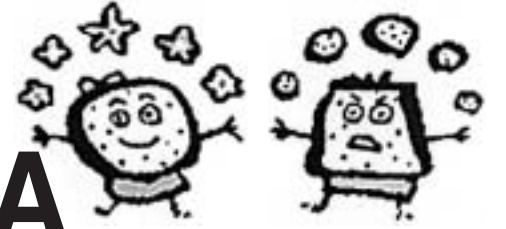
満足と満足をつなぐ、私たちの石文化だより

編集 / 「いよせき倶楽部」編集部

いよせき

倶楽部 C&A

Communication & Answer



第181号

いよせき株式会社 〒93-0003 愛媛県西条市西ひうち3-21 Tel. 0897-55-14 14 Fax. 0897-56-145 4 E-mail : info@iyoseki.co.jp

石のこれから



伊予青石記念碑

先月、南予で青石記念碑（約10トン）、大島サビ石副碑（約1トン）2石を納入しました。お寺に近い道路沿いに設置しました。ご依頼は地元出身の方で個人でお寺に寄贈されました。ご自身の熱き念い（おもい）を石に託そうと色んな所で石を探され、最終的に「伊予青石」に決められました。そして何よりもご自身が筆を取られた字が、石に彫られ永久的に残ることの素晴らしさを除幕式では感動されていました。

今後も記念碑、歌碑、句碑などの需要はあると実感しております。ただご存知のように青石は有限な石です。今後益々希少価値の高い石となっていくと思っております。石に求められる価値こそが、今後に繋がる意味ではないかと感じた出来事でした。

[岩間由記夫]

新製品

ステンレスオジェ (家紋 115 mm)

溶断加工で自由な切抜きができます。石とのコラボレーションで、新たな可能性に結びつけられると思います。

[佐藤美智子]



石のこころ

高知

「紀山石」

みちのく福島県産の白御影石です。
見掛け比重：2.658t/m3
吸水率：0.163%
圧縮強度：189N/mm2
年間採石量：20,000切（555m3）

紀山石の採掘は、採石開始後25余年。岩脈が中心部に向かうに従い青味が増し、限りなく大島石極上品に近づいてきました。目が細く青味をおびており、細かい石目と深みのある色合いで、関西方面で人気の大島石に似ています。その為、近年では四国でも主に納骨堂を中心に広く使われるようになりました。是非一度お使いくださいませ。

[折本集太]



トレンドウォッチ Trend-watch

徳島

「調和」

近年、人々の考えや好みもより個性が尊重されるようになりました。特に若い世代においては、お墓に対する意識も多様化しています。定番の和型のほかにも、ニューデザインの洋墓も登場し、種類・形態も様々です。

しかし、全体のバランスがとれていないものには、美しさを感じられにくいと思います。そこで、10月の石材工業新聞に「黄金比」についての記事が載っていたので、ご紹介させていただきます。

「黄金比とは、人がもっとも美しいとされる比率のことで、近似値は1:1.618(約5:8)で、ギリシャのパルテノン神殿やエジプトのピラミッドなどの歴史的建造物に黄金比を見出すことができるという。洋風の石碑の場合にも天地に対する左右の比率が黄金比になっていると思われるものがあつたり、墓所全体の高さとの比率が黄金比に近いと思われるものもある。」

安定しうまくバランスがとれたデザインであるかという観点から考えることも大切なことだと感じました。

[佐藤美智子]

石の豆知識 『お墓』

日本人は神代の昔から「石」に霊が宿ると考え、古代から石を「聖なるもの」として考えていました。

お墓の起源は縄文時代とされており、その頃の子供（1歳前後）のお墓には、生後間もなく亡くなった我が子への祈りの意味もあつたのか、こぶし大の丸い石をいれていたので、「石」は、死者がよみがえらないように重りの役目をしてきたという説が一般的にありましたが、いくつもの事例により決して先祖を粗末にしていたわけではなく、「お墓」には愛する家族、隣人を思う優しい思いがこもっていることが分かります。

また人の死が供養すべきものとなったのは室町時代からで、この頃には現在のような形で建てられるようになりました。一般的に広まったのは幕府が檀家制度を敷いた江戸時代からだとされています。

[横山歌織]

永遠の念い

社長白木の



いよせきギャラリーにて「青石だけの石彫展」を開催しております。前回の藤部展に続く企画展です。野村の宮岡さんにお願いをして企画をしていただきました。全国から6名の作家の方に伊予の青石を使った作品を出品していただいております。思った以上に良い作品が展示され、満足しております。もともとこのギャラリーは石彫家の皆さんの作品を展示し、広く一般の方に見ていただく機会を作りたいということから始めさせていただきました。ですから開催期間も以前の1週間程度から1ヶ月以上とさせていただきます。作家さんがいらつしやる時は限られていますが、事前にお問い合わせをいただければと思います。

2009年11月1日

白木秀典

Information お知らせ

ひうち営業1の事務所が、この度東側のひうち工場の事務所に移転しました。

賑やかになった事務所の皆様のお越しをお待ちしております。

[伊藤恵子]

お客様の声

「ギャラリーのイベント、いろいろ企画していただけますね」（I様）

編集後記

落ち葉散る季節となりました。まだまだインフルエンザがはやりつつあるのか？ 嫌な流行ですね、皆様お気を付け下さいませ。

藤原一恵